

Blitz

Art Photo Site Tokyo

6-20-29 Shimomeguro, Meguro-Ku, Tokyo 153-0064 Japan
TEL 03-3714-0552 FAX 03-3714-2571 E-mail info@artphoto-site.com

報道各位

平成19年12月吉日

「あの美しかった冬の光」

ハービー・山口 写真展

- タイムレス・イン・ルクセンブルグ(時の止まった国) -

2008年 2月1日(金)～ 3月29日(土)

1:00PM～7:00PM/ 休廊 日・月曜日 / 入場無料

ブリッツ・ギャラリー(アート・フォト・サイト東京)

* アート・フォト・サイト・ギャラリーの名称は2008年、
ブリッツ・ギャラリー(アート・フォト・サイト東京)となります。

〒153-0064 東京都目黒区下目黒6-20-29 お問い合わせ TEL 03-3714-0552
JR目黒駅からバス、目黒消防署下車徒歩3分 / 東急東横線学芸大学下車徒歩15分

「ほとんどの人々がストレンジャーである僕を受け入れてくれて、迷うことなくレンズに向き合ってくれた。この日本からきた写真家を信頼しようという態度が、僕の心にずっと快く響き続けた。きっと、彼らはフレンドリーな気質とともに、各々が、的確な判断ができる聡明さを備えているのではないかと考えた。そして小心者の猜疑心や、貧困からくる心の荒廃といったものがないのだ。」(ハービー・山口写真集「タイムレス・イン・ルクセンブルグ」より抜粋)

ブリッツ・ギャラリー(アート・フォト・サイト東京)は、ミュージシャンのポートレートやストリートでの何気ないスナップで知られるハービー・山口の写真展「あの美しかった冬の光」を開催します。本展のベースは彼が1999年の1月～2月にかけて、ルクセンブルク大公国に依頼されて同国内を撮影したシリーズです。どの場所で何を撮影しようが、「人の中から生きる希望を見出し、人間が人間を好きになるような写真」を追求する彼の姿勢は不変です。ハービー・山口の写真は、表面的に優しく感じるだけのイメージではありません。その背景には、“未来に希望がない人は自分自身を愛せない。もし現状に不満があるのならそれを打破する勇気を持つべきだ。目的が見えてくると自分が好きになり周りにもやさしい気持ちが広がっていく”という思いがこめられています。だから彼の写真は見て心地よいだけでなく、その世界観に共感する人の心を激しく揺さぶるのです。これこそが、「ロンドン・アフター・ザ・ドリーム」、「1989年東欧・真冬に咲いた花」、「代官山17番地」、「peace」や、本作で一貫している「ザ・ビック・ラブ」の精神なのです。

現在の日本は米国主導の市場を優先する経済改革の影響を受けています。IT化、グローバル化で促進された競争優先の社会は一部の勝者と多くの敗者を生みだし、人の心は荒廃していきます。西欧諸国も、世界的な市場化進行の影響を受けています。しかしこの地では政府が市民の社会権を重視し変化のスピードを緩やかに抑えています。時を急いで進めない国々、その象徴が中世の面影が残る小国のルクセンブルクなのです。いまハービー・山口の写真を見ると、経済成長よりも、社会が多少不自由でも多くの人々が笑顔でいられる国の方が幸せなのではないかと私たちに問いかけているような感じがします。本作は21世紀いまだからこそ、新たな視点で見直して、日本社会の将来を考えるきっかけにして欲しいシリーズです。本展では未発表作品も含む、新たにセクションされたモノクロ作品約30点が展示されます。

(ハービー・山口プロフィール)

1950年東京生まれ、大学で経済を専攻。卒業後、1973年にロンドンに渡り約10年間を過ごす。ロンドンではツトム・ヤマシタミュージカル劇団レッド・ブダでの役者も経験。一方、当時のパンク・ムーブメントを実体験し、コミュニティーの内側から撮影した素のままのロッカーたちのポートレートが高い評価を受ける。帰国後も日欧を往復し、アーティストから普通の若者までをモノクロで撮影し続けている。代表写真集に、“London after the dream”(流行通信社 1985)、“代官山17番地”(アップリンク 1998)などがある。写真家以外にも、エッセイ執筆、ラジオDJ、テレビのパーソナリティーなど幅広い分野で活躍している。

写真展の情報、画像はアート・フォト・サイト(http://www.artphoto-site.com/inf_press.html) でご覧になれます。